

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 15 号

第 15 週 (4月12日 ~ 4月18日)

発行年月日:平成22年(2010年) 4月22日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生は、増加傾向

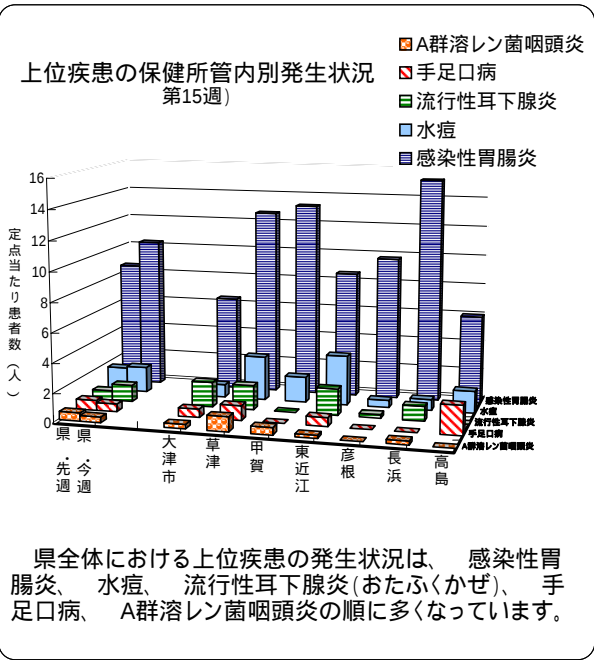
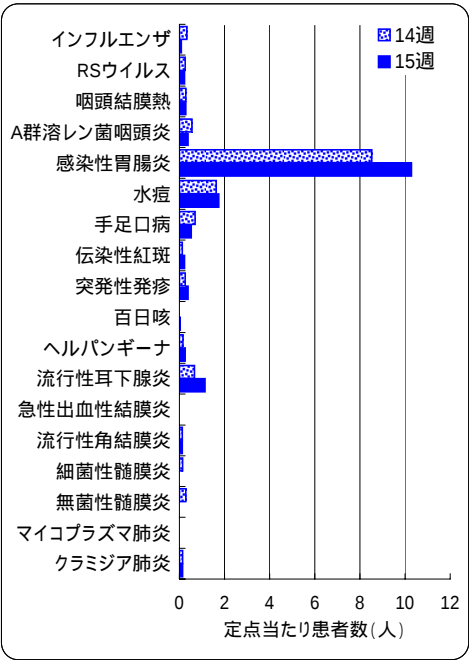
一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 15 週)

- ・一 類 感 染 症 --- 報告はありません
- ・二 類 感 染 症 --- **結核 9名**
- ・三 類 感 染 症 --- 報告はありません
- ・四 類 感 染 症 --- 報告はありません
- ・五 類 感 染 症 --- **クロイツフェルト・ヤコブ病 1名、梅毒 1名** (早期顕症梅毒 期)

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(441名)よりさらに増加し、今週は501名となっています。今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、伝染性紅斑(リンゴ病)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、今週は、警報発生基準値ならびに注意報発生基準値に該当する疾患はありません。

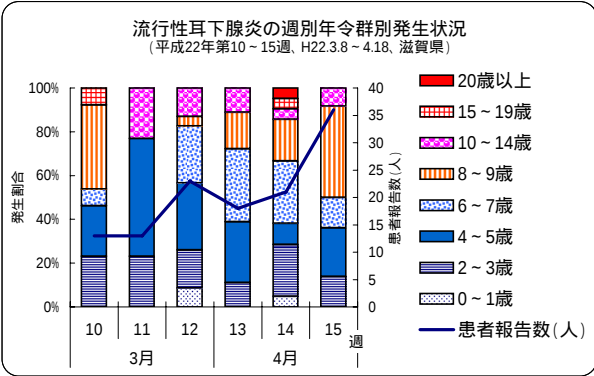


流行性耳下腺炎の発生状況

流行性耳下腺炎の第10～15週(3/8～4/18)における患者報告数は、増加傾向となり、第15週には前週の約1.7倍増となっています。

第10～15週における年齢群別発生状況はグラフに示すとおりです。特に、第15週には8～9歳の発生割合が増加し、全体の約42%を占めています。

また、保健所管内別の発生状況は、大津市、草津、長浜で多くなっています。



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(15週)	全 国 ^(※2) (14 週 注)	滋 賀	全 国 ^(※2)	滋 賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	76	5,849	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	46	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	2	279	27	3,886	53	4,322
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	19	1	56	0	43
	A型肝炎	2	111	0	115	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	30	0	93	2	104
	マラリア	0	17	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	138	8	712	10	893
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	4	214	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	48	3	220	5	241
	急性脳炎	0	77	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	37	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	37	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	340	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	19	0	73	1	75
	梅毒	3	139	3	692	5	839
	破傷風	0	20	3	113	5	123
	風しん	1	21	2	148	2	309
	麻しん	0	123	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	_ ^(※4)	_ ^(※4)

注：15週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

- * 1: 感染症発生動向調査年報暫定数 (国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。
* 2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています (国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。
* 3: 感染症法の一部改正 (平成21年7月24日施行) により届出の対象となった報告数です (届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)
* 4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数＝定点当たり患者数×定点数)。

(1)疾病別・週別発生状況(平成22年第10～15週、3/8～4/18)

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 (↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少)										
			10週	11週	12週	13週	14週	15週	週				
			3/8～	3/15～	3/21～	3/29～	4/5～	4/12～	11	12	13	14	15
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.50	0.56	0.27	0.44	0.32	0.09	↑	↓	↑	↓	↓
小児科	32	RSウイルス感染症	0.68	0.61	0.26	0.06	0.25	0.22	↓	↓	↓	↑	↓
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.29	0.16	0.16	0.28	0.28	↑	↓	→	↑	→
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	1.13	0.55	0.68	0.56	0.38	↑	↓	↑	↓	↓
		感染性胃腸炎	8.39	7.97	7.39	7.39	8.53	10.28	↓	↓	→	↑	↑
		水痘	1.65	2.19	1.39	1.55	1.63	1.75	↑	↓	↑	↑	↑
		手足口病	0.45	0.68	0.45	0.35	0.69	0.53	↑	↓	↓	↑	↓
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.03	0.10	0.13	0.22	→	↓	↑	↑	↑
		突発性発しん	0.23	0.55	0.35	0.19	0.25	0.38	↑	↓	↓	↑	↑
		百日咳	0	0	0	0.03	0	0.03	→	→	↑	↓	↑
		ヘルパンギーナ	0.13	0	0.10	0.13	0.16	0.25	↓	↑	↑	↑	↑
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.42	0.42	0.74	0.58	0.66	1.13	→	↑	↓	↑	↑
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0	0	0.13	0	0.13	0.13	→	↑	↓	↑	→
		細菌性髄膜炎	0	0.29	0	0.14	0.14	0	↑	↓	↑	→	↓
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.29	0	→	→	→	↑	↓
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0.14	0	0	0	↑	↓	↓	→	→
基幹	7	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.14	0	0	0.14	0.14	↑	↓	→	↑	→

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向・・・伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎
減少傾向・・・インフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶菌菌咽頭炎

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第15週、4/12～4/18)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.09	0.09	0	0	0	0.57	0	0	
RSウイルス感染症	0.22	0	0.33	0	0.20	0	0	2.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.71	0.50	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	0.29	1.00	0.50	0.20	0	0.25	0	
感染性胃腸炎	10.28	6.43	12.67	13.25	8.60	9.75	15.25	6.00	
水痘	1.75	0.86	3.00	1.75	3.40	0.50	0.75	1.50	
手足口病	0.53	0.57	1.00	0	0.60	0	0	2.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0.14	0.50	0.50	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.38	0.57	0.50	0.50	0.60	0	0	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.25	0.29	0	0	0	0	0	3.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.13	1.71	1.67	0	1.80	0.25	1.00	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

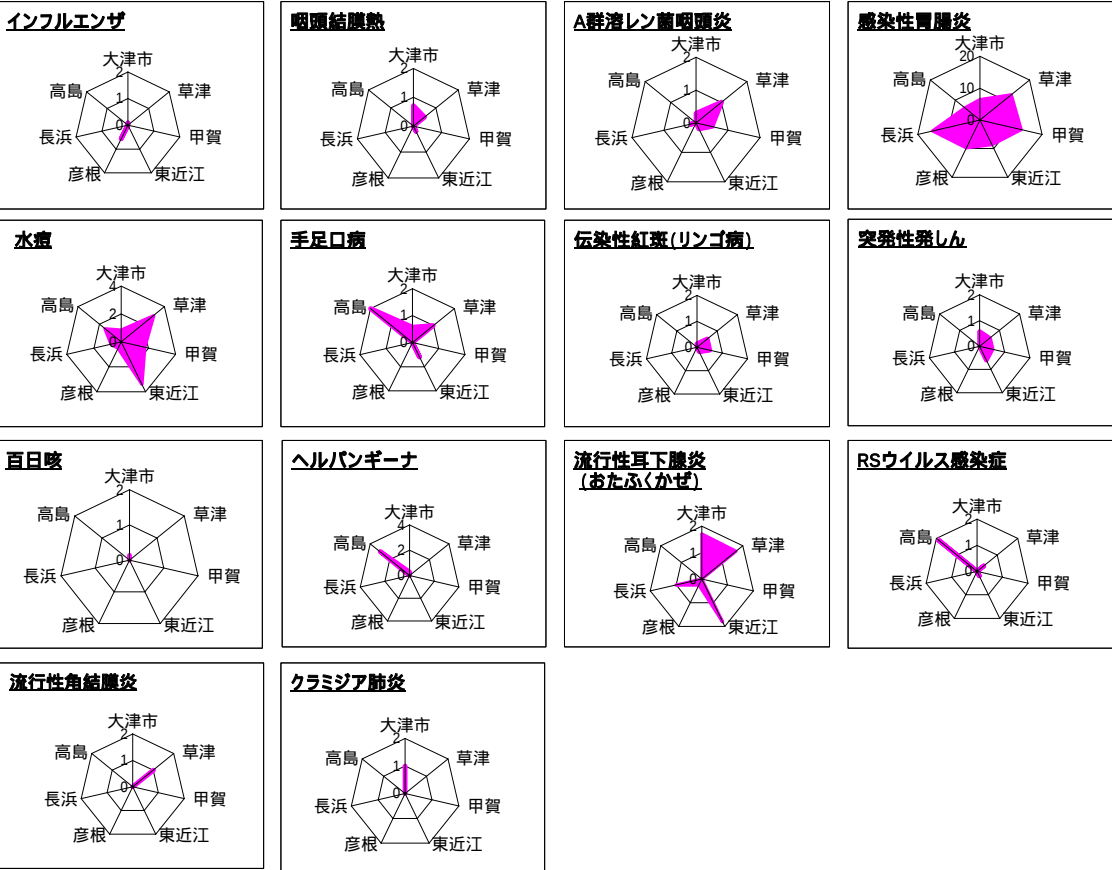
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

024681012

定点当たり患者数

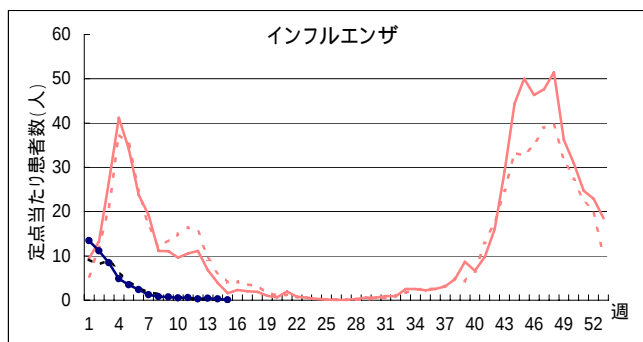
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

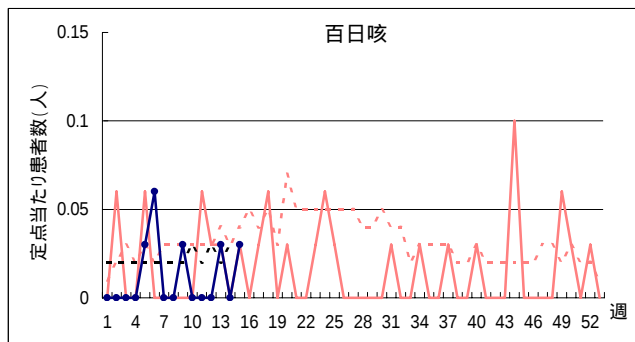
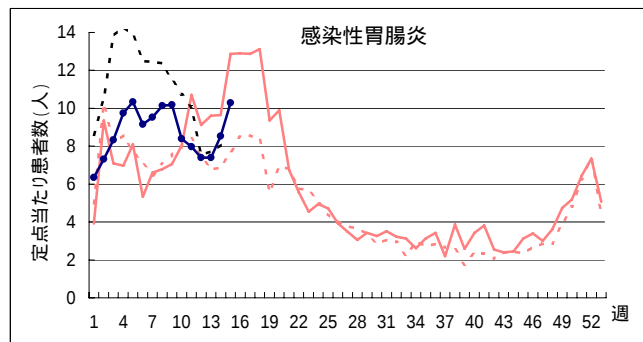
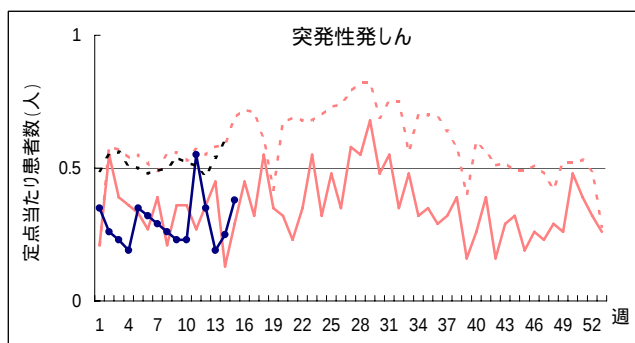
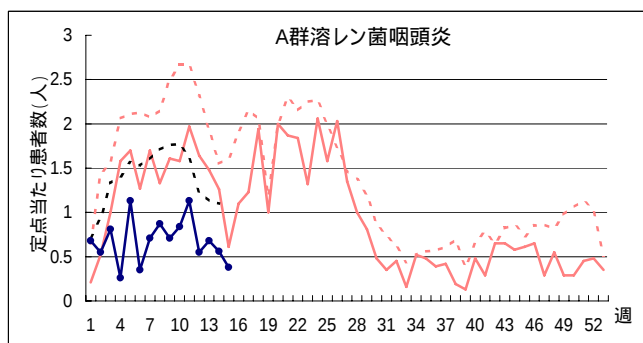
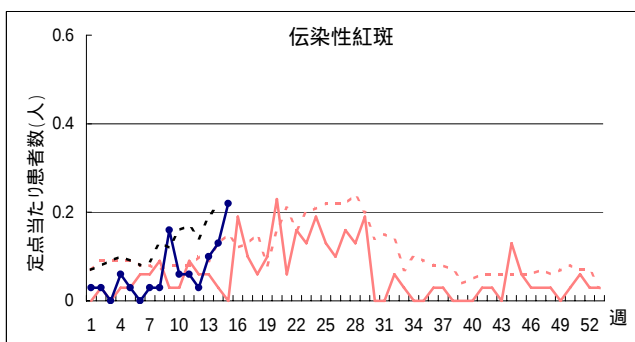
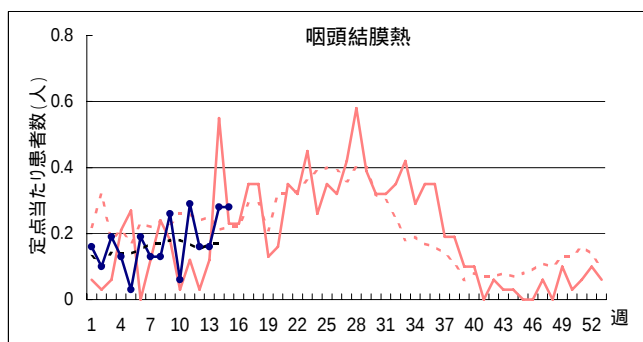
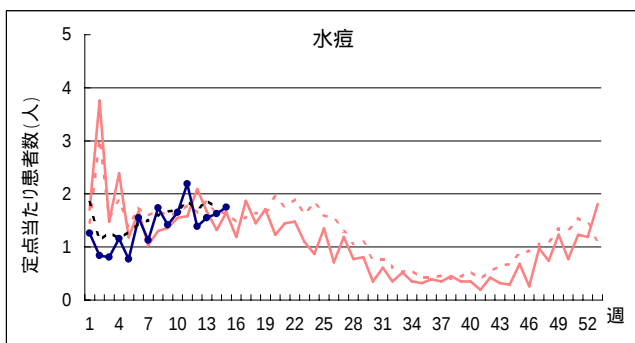
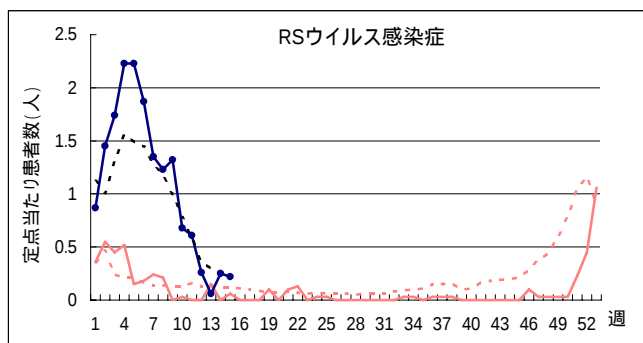
- インフルエンザ-----彦根保健所管内からの報告は、第14週までやや多くなっていましたが、今週の定点当たり患者数は0.57と減少しています。また、県全体の定点当たり患者数は0.09となっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より増加しています。特に、彦根保健所管内では、先週よりかなり多くなっています。
- 水痘-----先週、注意報発生基準値(定点当たり患者数4.00)となっていた草津保健所管内では、注意報発生基準値未満となっています。また、東近江保健所管内では急増し、定点当たり患者数は3.40と多くなっています。
- 伝染性紅斑-----県全体では先週より増加し、大津市、草津、甲賀および東近江保健所管内から報告されています。
- 手足口病-----先週多かった草津および長浜保健所管内からの報告は、かなり減少しています。

疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 15 週、H22.1.4～H22.4.18)

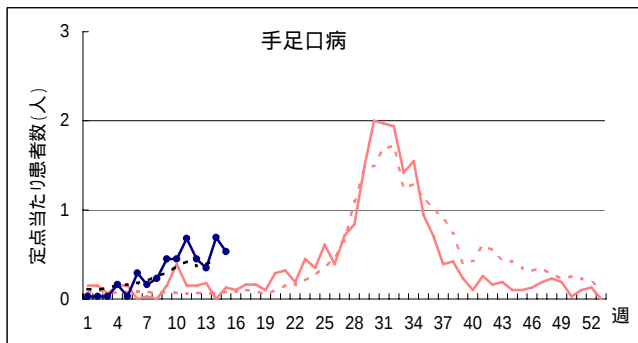


H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 15 週、H22.1.4～H22.4.18)



H21 { 滋賀 ————
 全国
 H22 { 滋賀 —●—●—
 全国
 週

